



天と地

天地無用って「ひっくり返しても
いい」じゃないの!!!!?????

天

→
ぼうがあるもん」

天子 「天の子、天下を治める、わしが天に先に行くんだ」
天使 「神の使い、わしが天に先に行くんだ」
墮天使 「神に反逆して展開を追放された天子、わしが天に先に行くんだ」
天道 「天子などがこどものすがたになってあらわれたもの、わしが天に先に行くんだ」
天狗 「妖怪、わしが天に先に行くんだ」
天 「ひとはだれもとどがないよ だって、

この世界の片隅に、ある男がいた。この男は孤独だった。男は一人で朝日を見、適当に作った弁当とともに会社に出かけ、一人で月を眺め、一人布団にもぐるのだった。遊ぶ友達も愚痴をこぼしあう同僚も相談できる上司もいなかった。毎日男は一人で生きていた。男は毎日その生活を繰り返すうち、いつしか孤独を感じなくなっていた。一人でいる悲しみも、むなしさもなかった。もちろん喜びも楽しみもなく、男は少しずつ感情を失っていた。

そんな時、ある声が聞こえた。男が声に振り返ると、人型のシルエットがあった。ただそれはリングくらいの大きさで赤く、羽を持ったいわゆる妖精だった。自分を付け回す妖精に初めは自分がおかしくなったのだと考え、男は無視をした。しかしある日、男は妖精に話しかけてみようと思った。頭がおかしいならそのままおかしくなってしまうともいいと思った。男は、意識はしていなかったものの、この変わらない毎日に疲弊しきっていた。話を聞いてみると、その妖精のようなものは、苦しむ人に寄り添うために生まれたという。なんと自分が苦しいときに話し相手になってくれるというではないか。男は長い間人とともに世間話を交わしたことがなく、最初こそうまく話せなかったが妖精はゆっくり聞いてくれた。男にとって妖精は安らぎとなっていた。妖精は名前を言いたがらない。男は妖精に天使と呼んでいいか、と聞くと、妖精は笑って承諾した。

しかしそんな穏やかな生活も一変する。男の周りで天使が点滅し始めたのだ。男は不安になり苦しみだすと天使が現れるが、天使が現れた安らぎで天使はすぐに消えてしまう。男の精神は不安定なものとなった。唯一の安らぎを失った男がとった行動は、天使が現れた安らぎよりも強い苦しみを自分に与えることであつた。男は毎日のように自らの体を切り刻んだ。しかし、その苦しみに慣れてしまった頃、男は古びたアパートの屋上に静かに足を進め……。

男が次に目覚めたのは熱い炎の海の中であつた。苦しむ男の目の前で妖精は微笑み、そして消えた。

夏の夜空を見上げると天の川がきれいに見えるだろう。その中に三つの一際明るい星があるはずだ。そのうち二つが、七夕伝説で有名な織女星と牽牛星である。伝説によると織姫と彦星は七夕の夜にだけ天の川を渡って会うことが許されているらしい。

そこで、ある疑問が生じた。この二人はいつたいどれだけ離れたところから暮らしていて、どれだけの速さで駆けつけているのだろうかということである。これらの疑問について調べるうちに、私は恐るべき発見をするようになった。

まず、織姫と彦星は約十四光年離れている。ここで、一光年は九四六〇〇〇〇〇〇〇〇〇キロメートルなので、この二人の距離は一三二〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇キロメートルということになる。また、地球の直径は一二七四二キロメートルなので、だいたい地球百億個分離れた場所に暮らしていることになる。

次に、伝説通りに織姫が七夕の夜に彦星に会いに行くものとする。ここで、夜は午後五時からとする。すると、織姫はこれほどの長距離をたったの七時間で走り抜けたことになる。その場合の織姫の走る速さは、時速十八兆九千億キロメートルということになる。光速は時速十億キロメートルほどなので、織姫は光速の一万八千九百倍ものスピードで猛然と走ったことになる。そのような速さで移動ができるのかはわからないが、実に驚異的なスピードである。

これからの季節は夏の大三角や天の川といった、とてもきれいな天体が数多くみられるだろう。その中の一際明るい星、織女星を見かけたら、織姫のことを考えてみてほしい。彼女はきっと、来る七月七日の地球百億個分の長距離走に向けて準備をしていることであろう。また、七夕当日は注意深く観察してほしい。もしかしたら、天の川を目にもとまらぬ速さで駆け抜ける彼女の姿を見ることができるかもしれない。

地球百億個分の距離を超光速で駆け抜ける天空の姫

A 「ねえ、何干しているの？」

B 「これかい？これはねえ、坊やを喜ばせるためにおじさんがいつも着ているものさ！（まずい！見られた！！！！！！）」

『（当地キャラクターの着ぐるみの天日干し）』

オレは蜘蛛だ。

とは言つても普通の蜘蛛じゃないぜ？
天国でお釈迦様に仕えているのさ。

お釈迦様は慈悲深いお人だな。

地獄にいる連中までもいつも救おうとなさるんだ。

オレの仕事はそれを執り行うことだ。

オレは天国から真下にある地獄に向けて糸を垂らす。

そうすると、地獄の連中がその糸をよじ登って行って
最終的には天国にたどり着くって寸法さ。

でも、オレの仕事はそれだけじゃない。

もしオレの糸を登ってる奴が少しでも浅ましきを見せやがったら、
糸をぷつぷつ切り切つてやるのさ。

くるくるくると落ちていって地獄に逆戻りつてわけよ。

難しそうな仕事だつて？

そんなことねえさ。

人間の卑欲つてのはよく見えるからな。

もしお前が地獄に落ちて、

オレの糸が垂れ下がってるのを見つけたら、せいぜい頑張ることだ。

ま、無駄だとは思うがな。

なんでそんなことが分かるのかつて？

分かるに決まつてるさ。

オレの糸を登つて天国にたどり着けた奴は
今まで一人だつていなかったんだからよ。

1日目 暗闇がある中、神は光を作り、昼と夜が出来た。

2日目 神は空をつくった。

3日目 神は大地を作り、海が生まれ、地に植物を生えさせた。

4日目 神は太陽と月と星をつくった。

5日目 神は魚と鳥をつくった。

6日目 神は獣と家畜をつくり、神に似せた人をつくった。

7日目 神は休んだ。

これは旧約聖書『創世記』の冒頭だが、

世界で常に争いが起こったり、貧者が飢餓で死んだり、

致命的な不具合が多いなあと思ったら

6日間の作業を終えて7日目にデバッグをせず
に休んでるじゃねえか！
神のくせに理系失格だ！

「神の失敗」

天邪鬼な僕は、思春期真っ只中

変わりゆく周囲の存在が嫌で嫌でしかたなかった

地にそびえたつ大木が羨ましくて堪らなかった

異なる存在だが、その堂々たる姿に憧れて、僕は近づいた

「死にたいなあ」

グラスに残った溶けかけの氷をかき混ぜながら、何てことないようにつぶやいた。向かいに座る友人はポテトをつまむ手を止めずに、じゃあ死ねば、と答えた。そうだね、と返すと学校の屋上のフェンスの外にいた。手に掴んでいる物はグラスからフェンスに変わっていた。

「ほら、足を一歩だしてごらん」

フェンス越しに友人が声をかける。その声のままに足を踏み出すと、私を縛り付けるものは何もなくなったように感じた。体の軽さを感じながら落ち続けて、今なら上も下も天も地もないなあと思った。

気づいたら周りは天国だった。誰かにここは天国だと言われたわけではないが、なんとなくそうだと思った。明るくて、暖かくて、何もなかった。歩いてても、歩いてても、何もなかった。

「つまんないな」

そう呟くと、今度は地獄にいた。今回も誰かに言われたわけではないが、確かにそうだと思った。暗くて、寒くて、そしてやはり何もなかった。歩いてても、歩いてても、何もなかった。

退屈してきたとき、お腹がぐうと鳴った。そろそろ夕飯の時刻かもしれない。明日提出の課題もあったし、家に帰ったら今日買ったCDも聞きたい。帰りを心配した親からメールがきているかもしれない。なんだかそわそわしてきた。私は本当に死んでしまったのだろうか。ここには誰もいない。何も無い。私を縛るものは無いが私に触れるものも無い。座り込んで顔を膝に埋めた。目をつむっても開けても景色は変わらない。

「お家、帰りたい？」

振り向くと友人がいた。真っ暗な筈だが、なぜかわかった。頷くと、家の前にいた。

「ただいま」

家の中には家族がいた。明るくて、エアコンで少しだけ涼しかった。そういえば、あの友人は誰だったのだろう。

女 天才型

—頭脳明晰でスポーツ万能。ここぞという時にリーダーシップを発揮し周囲の人から頼られる。異性の扱いにも長けていて、男からも一目置かれている。やたら犬種に詳しい。

天使

—かわいすぎると評判が高い。なにかをやらかしてもその美貌ゆえに許されることが度々。たまに出る天然な感じも魅力的……。

お天気女子

—その日の天候によって性格が急変する。ツ

ンデレ。湿度で髪型が変わりやすいせいか天パの人に多い。しきりに自分の機嫌を顔文字で表現しアピールしたがる。

破天荒女子

—昼間は普通のおとなしめの女の子、夕方か

ら徐々にテンションを上げていき夜にピークを持つてくる。夜中に自宅で男女交えて飲み会を開いてしまうほどの荒れっぶり。体が異常に柔らかい。特に夜…。

『怠惰の先は地獄』

もうどうだっていいや

うん……もういつそのまま寝てしまおうか

いや、そんな考えは捨ててしまおう

ちくしょう、このままでは地獄行きになってしまふ……

どうにかして今晚でこいつらを終わらせねば

読書感想文に自由研究に日記帳……

みつしり溜め込んでしまった一か月分の課題……

かたづけなければならぬことはわかつている

えぐい……まさにその言葉がピッタリだ

そう、僕は今、間違はなく窮地に立たされている

うつかりしている間にもう夜だが、もう一頑張りしなければ

『頑張りの先は天国』

天のむすめは雲の上
 広がる地平を眺めては
 誰でも良いから私に気づけと
 雲を削つて雪を撒く

大地のむすめは谷の底
 果てなき雲井を見上げては
 見知らぬ誰かよ私はここに
 山を揺らして歌わせる

天のむすめは雲の上
 微かに聞こえる山歌に
 誰かが私を見つけてくれたと
 喜び勇んで滝降らす

大地のむすめは谷の底
 緞帳のごとき大雨に
 是非是非一緒に遊びましょうと
 河を作つて山崩す

天のむすめは雲の上
 地底の彼女を想つては
 大事な貴女に贈り物をと
 星をつついて地に墮とす

大地のむすめは谷の底
 雲井の彼女を想つては
 私も貴女に何かをあげると
 岩を溶かして天へ噴く

*

*

天のむすめは塵の上
 瓦礫のヴェールは地を覆う
 払えど嘆けどその手は届かず
 涙を拭つてまた眠る

大地のむすめは塵の下
 瓦礫のヴェールは天を隠す
 頭上に伸ばしたその手は届かず
 冷えた世界で光を待つ

コンテスト結果

[Aの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	地に落ちた果実	8 pt	5 位	0 sp
		仲間のために身を引いて次の実りのための肥やしとなるか、目的をまっとうしてデパ地下デビューをするか、どちらが幸せなんでしょうね。 くだものひとつひとつの運命という見せ方が人間とシンクロしやすく、さらりと述べて深読みも可能なすぐれもん表紙でした。		
A02	無題（太陽は）	12 pt	3 位	2 sp
		ガリレオガリレイ、入ります。 おとなより子どものほうが、真っ直ぐに見てるよと、きっちり論じて説得力◎。となりの彼と同時受賞のブロンズメダルです、おめでとう！ 特別賞：真面目横書き賞（ガリレオ・ガリレイ）考えさせられるで賞（班員全員考えたことなかった。たしかに真剣に考えたらおもしろそう） イチオシフレーズ：「がりれをが理れい」		
A03	天と地の間で	6 pt	7 位	0 sp
		落ちる夢。描写がリアルでコワイです。特に鉄塔のくだりの風景の俯瞰的な見せ方が秀逸でした。 で、ラストどうなった?? イチオシフレーズ：「今日も、落ちる夢を見る」		
A04	無題（雨ちゃん）	12 pt	3 位	2 sp
		雨ちゃんにモテ期到来、梅雨だけに。 コミカルで楽しいつくりです。次回予告で新キャラ投入もいい演出でした。となりの彼と同時受賞のブロンズメダル&イチオシフレーズ大賞です、おめでとう!! 特別賞：次回も期待賞（次回予告があったから） バタン！ 賞（雨が落ちる音） イチオシフレーズ：「来週の「水の循環」もお楽しみにね！」 「バタン」 「大地くん、いきなりごめんね」 「水の循環」		
A05	命導く命	1 pt	10 位	2 sp
		命の連鎖というメッセージだったでしょうか。 日頃なじみのない古風な文体へのチャレンジ◎。 ただ読みやすさが犠牲になってしまっているの、そのあたりもう少し噛み砕いても良かったか。 特別賞：お賞（だってこれお経じゃん） 難しいで賞（よく書けたなぁと思ったから）		
		1 pt	10 位	4 sp
		例の示し方のセンスのすばらしさに唖然呆然です。 楽しみつつ、誤解撲滅運動。グッジョブ！ なにかと話題になって最多特別賞をさらいました。おめ		

A06	天地無用	でとう！ 特別賞：対称（読んで字の如し）きたないで賞（きたない、けどうまい）解説してくださいで賞（よく分からないから）逆で賞（逆さにしたら意味が変わるから） イチオシフレーズ：「世の中ね顔かお金かなのよ」「マルダし押米に船り釣鯛」
A07	蜘蛛の糸連続殺人事件	2 pt 9 位 0 sp とことん悪いヤツだなあ、カンダタめ、とその後の彼を追いかけることで、新たな人間像が立ち上がってくるのがおもしろい。 もとのお話と同じように、ちゃんと勧善懲悪ストーリーにおさまりましたね、めでたしめでたし。
A08	無題（天邪鬼）	3 pt 8 位 0 sp なんでも反対のことを言ってみたがるはねっかえり面と、でもとても人なつこいさびしがり面との両面を備えるアマノジャクくん。飾らないトークが親近感を呼びます。さりげないヨコヨミ入りも手がかかってて◎。 イチオシフレーズ：「地獄に堕ちろ」「僕で僕で僕で」「あまのじゃく ちちちち」
A09	天地がひっくり返る程の	1 pt 10 位 3 sp うわあ三段組。読むの大変……と思いきや、なかみスカスカなので、すいすい行けます。 天使めがけて一直線のスピード感◎。でもって序盤で引っ込められちゃったミカちゃんの出番は？ 特別賞：本屋大賞（長い、大作）頭逝ってるで賞（文章が長く自分の世界に入ってる）長いで賞（長いです。ネタばかりで読む気が……） イチオシフレーズ：「ちくわがささった」「如何にして脱がすかである」「私の可愛い天使（マイルスウィートエンジェル）」
A10	空君と大地さん	8 pt 5 位 0 sp 空と大地。スケールの大きなふたりのあいだの相聞歌。コーラスの男声パート女声パートのハーモニーが鳴り響いて、やがて渾然一体となってゆくような壮大な印象でした。
A11	天国と地獄（夏休み）	16 pt 2 位 2 sp たった一日で天国から地獄への急展開。 なるほどねとナイス着眼に納得です。ウケましたね～、おめでとうシルバーメダル!! 特別賞：宿題は（はやめに）やりま賞（8月31日宿題やる人が多かったから）もう大学生で賞（お前は9月1日から学校きちんといよ） イチオシフレーズ：「9月1日」
A12	無題（暖かい雨）	20 pt 1 位 0 sp 天に昇ってまた降りてくる。スケールの大きな循環をしっかりと季節感ゆたかに歌い上げた裏表紙でした。 雲がさびしくなって、雨になって降りてくる。あたたかい雨が読み手の心を潤してくれます。 おめでとうゴールドメダル!!!

[Bの部]

コラム 番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	よくある大惨事	6 pt	6 位	1 sp
		「大惨事」というさりげないひとことが効いてます。 いろんな悲劇を想起させる今週の意味深表紙でした。 特別賞：！賞（ビックリしたから） イチオシフレーズ：「天地無用って『ひっくり返してもいい』じゃないの！！！？？？」×2		
B02	無題（ぼうがあるもん）	0 pt	11 位	0 sp
		人ごときに簡単にのぼってこられてたまるもんかつ。 しっかり通せんぼしている「天」くん、かわいい。 キャラクターがヒットしてイチオシフレーズ大賞をいただきました。おめでとう！ イチオシフレーズ：「ぼうがあるもん」×3 「ひとはだれもとどがないよ」「とどがない」		
B03	天国と地獄（妖精）	4 pt	9 位	1 sp
		天使に会いたいためにわざわざ苦しみを創造するというコンセプトが、いろいろ悲劇の元ですね。 でもって、この妖精さんは、とっても意地悪ということでしょうか。それとも何か隠された目的が？？ 特別賞：コミュ賞（この男、コミュ障）		
B04	地球百億個分の距離を超光速で駆け抜ける天空の姫	10 pt	3 位	0 sp
		こつこと真面目に計算して組み立てた宇宙スケールの疾走感がじつに爽快。地道な積み上げが評価されてブロンズメダルです、おめでとう！ イチオシフレーズ：「地球百億個分の距離を超光速で駆け抜ける天空の姫」		
B05	ご当地キャラクターの着ぐるみの天日干し	2 pt	10 位	1 sp
		やばい。子どもの夢を壊しちゃううう。と内心あたふたなおじさんの姿が彷彿としてきてユーモラス。 特別賞：注意散漫で賞（ゆるキャラでなく、ご当地キャラクターを使っていて、なるほどと思ったが、さすがにもう少し注意しましょう）		
B06	無題（オレは蜘蛛だ）	0 pt	11 位	0 sp
		カンダタさん大人気。こちらでは蜘蛛という新キャラ登場です。 なるほど運命の糸を握っているのは蜘蛛の野郎だったのか。新キャラ投入で定番のストーリーのとらえかたも、がらっと変わってしまいますね。		
B07	神の失敗	6 pt	6 位	1 sp
		あれえ、神っていつから理系になったの？と意表を衝いた見立てで楽しませてくれます。 デバッグなにそれ？の人にも伝わるようは説明があると、より親切だったのでは。 特別賞：プログラマーで賞（プログラミング用語を使っている） イチオシフレーズ：「神のくせに理系失格だ！」×2		
		8 pt	4 位	0 sp

B08	雷	がっしゃーん！効果音どころか描写すらいっさいないのに、大音響が聞こえ、まっぴたつに避けた大木が見えてきてしまいます。 敢えて書かないことで、より想像を刺激しよう作戦、成功の巻でした。ヨコヨミも自然に入ってます。			
B09	夏の日の夢	<table> <tr> <td>8 pt</td><td>4 位</td><td>2 sp</td></tr> </table> 天国行って、地獄行って、おうち帰って。 願えば、すぐに実現する。つかのまの大旅行の夢のような浮遊感がユニークでした。 青い鳥はおうちにいたってことでしょうか？ 特別賞：王道賞（ありきたりだから）キレイで賞（詩・ストーリーが全体的にきれいでした） イチオシフレーズ：「死にたいなあ」	8 pt	4 位	2 sp
8 pt	4 位	2 sp			
B10	天使の辞典	<table> <tr> <td>6 pt</td><td>6 位</td><td>2 sp</td></tr> </table> 女子の4タイプ。だんだん崩れてくる流れが、あるある感を増幅させて楽しい。 でもって、作者さんの好みは「破天荒女子」と見た！ 特別賞：偏見で賞（やたら犬種に詳しい）辞書順じゃない賞（辞書順じゃないから） イチオシフレーズ：「やたら犬種に詳しい」「体が異常に柔らかい。特に夜…。」「特に夜…。」	6 pt	6 位	2 sp
6 pt	6 位	2 sp			
B11	怠惰の先は地獄/頑張りの先は天国	<table> <tr> <td>29 pt</td><td>1 位</td><td>4 sp</td></tr> </table> これはほんとに凄いギミック。 右から読むのと左から読むので、同じセリフなのに、正反対の展開になる。よくつくったなあ。ブラボー！ 壇上常連の彼、今回も最多特別賞&ゴールドメダルで、賞禄を見せつけていただきました。おめでとう!!! 特別賞：共感できるで賞 頑張った賞（横読み+逆読みがすごい!!!）もう一度読み返したい日本語で賞（横読み、上手だから）もう1度読み返しま賞（気づいたときのインパクトがすごかった） イチオシフレーズ：「怠惰の先は地獄」	29 pt	1 位	4 sp
29 pt	1 位	4 sp			
B12	天変地異	<table> <tr> <td>11 pt</td><td>2 位</td><td>3 sp</td></tr> </table> 天のむすめと大地のむすめの響き合い。 美しい出会いのはずが、その身に備わる力ゆえに世界を壊してしまう。当人達に自覚なしなのが、いかにも神話風。 珠玉のフレーズたちで神話世界をくっきり歌い上げてすばらしい裏表紙でした。おめでとうシルバーメダル!! 特別賞：上下対称 見た目がキレイで賞（賞名のまま）二人を賞認します（委員長の独断と偏見）	11 pt	2 位	3 sp
11 pt	2 位	3 sp			